

関東技術事務所 様式2の書き方のポイントについて

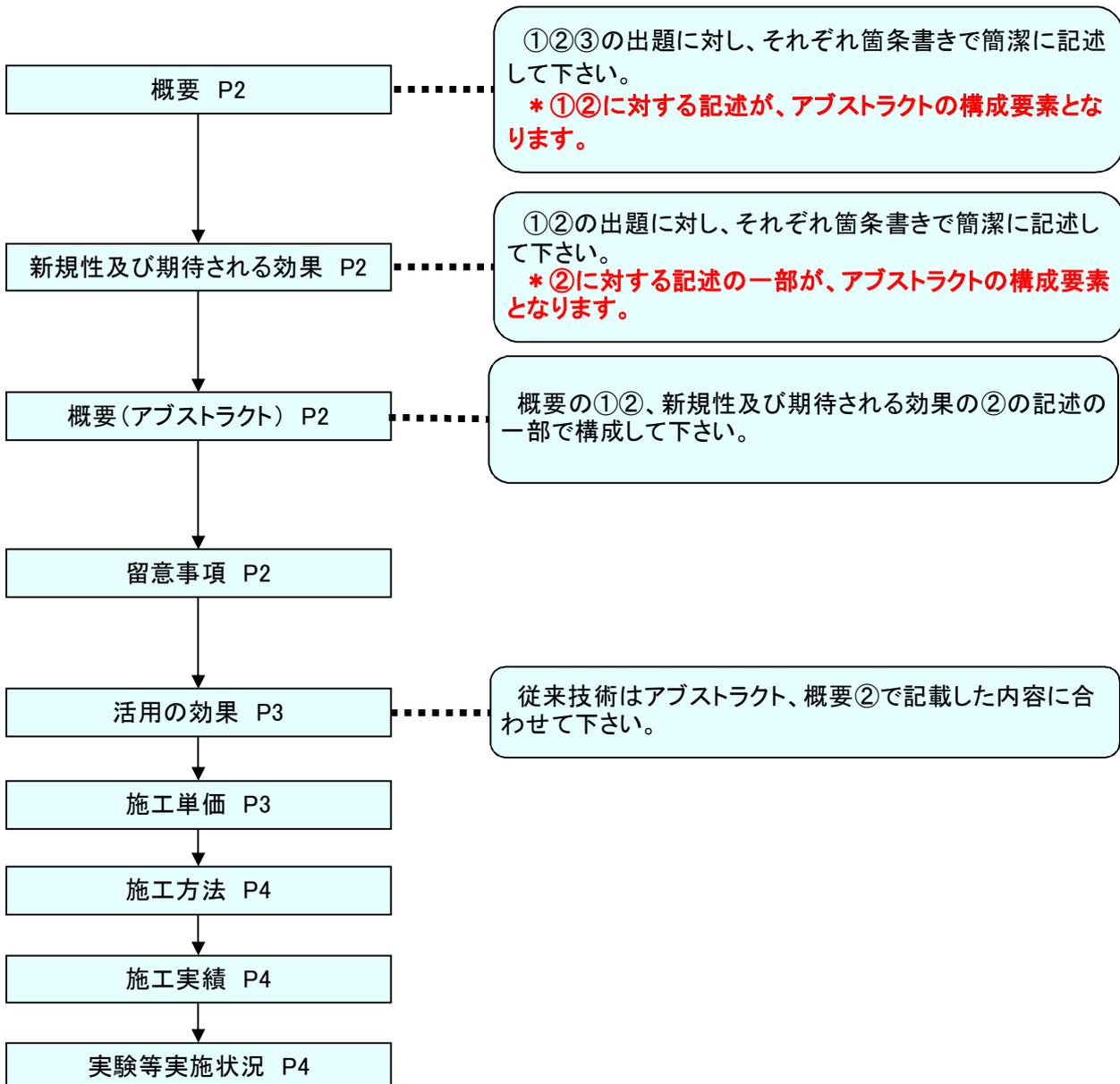
様式2の作成にあたり、関東技術事務所では申請資料作成マニュアル(pdf)をダウンロード出来るように整備しています。
より簡潔に分かり易く記述して頂くために、この書き方のポイントを申請資料作成マニュアルと一緒にご活用下さい。

技術概要説明資料(様式2)の目的

開発目標や活用効果等の技術の特徴と共に、活用等における留意点を記載して下さい。

○書き進め方

様式2には様々な記入項目が用意されていますが、各項目はそれぞれが関連しているため下記の書き進め方に沿って記述して頂くと、書きやすいと思われます。



※文字の着色について

様式2にある代表的な項目について、シート別に書き方のポイントの説明を載せましたが、そこで着色されている文字等は、説明する上で分かり易く着色しているものです。
様式2を作成する際、例に挙げたような文字の着色は必要ありません。

概要(アブストラクト)

※ポイント

アブストラクトは、文字数制限(全角127文字以内)がありますので、技術の一番の効果に絞り、その効果の得られる理由も簡潔に記載して下さい。

必ず定型句により書き出して下さい。

概要(アブストラクト) ※検索結果に表示する技術の概念です。(全角127文字)

本技術は、(概)①で、従来は、(概)②で対応していた。本技術の活用により、(新)②が図れます。

概要

①何について何をやる技術なのか？

・○○○

②従来はどのような技術で対応していたのか

・△△△

③公共工事のどこに適用できるのか？

・□□工事

④その他、追記、詳細…

新技术の特徴を具体的に記入して下さい。

・何に使用する技術？
・改善したポイントは？等

従来技術を具体的に記入して下さい。

・新技术と同じ条件(組合せ)で記入されているか？

新技术を使用する具体的な工事等を箇条書きで記入して下さい。

・道路工事
・法面工事
・地滑り対策工事等

補足説明が必要な場合などは、④その他(追記・詳細)等で入力コメントを作成し、記述して下さい

技術概要のわかる写真または概念図等
(特にシステムであれば、新技术の該当箇所を添付して下さい。)



○○システム概要図

新規性及び期待される効果

①どこに新規性があるのか？(従来技術と比較して何を改善したのか？)

1. 従来技術から新技术への変更点について記入します。
(機械の形、材料の素材、手動から自動、製品の作成方法、組立て方法等)

2. 従来技術に新技术を追加した場合は追加した部材等を記入します。
(技術の追加部分等)

3. 従来技術の一部または全部を省略した場合は省略した内容を記入します。
(工程の一部または全部を省略、すべて自動化、製品の一部を省略等)

②期待される効果は？(新技术活用のメリットは？)

1. 変更点から書き出して下さい。
※○○に変えたことにより、……

2. 効果(メリット)に繋がる理由を必ず記入して下さい。←概要(アブストラクト)の文章の一部
※△△が□□なるため、…○○の向上が図れる。

3. 効果(メリット)まで記入して下さい。←概要(アブストラクト)の文章の一部
※活用の効果(経済性・工程・品質・安全性・施工性・周辺環境への影響抑制・その他)

留意事項

①設計時

・この新技术を活用しようと考えた時、どうすれば良いかを記入。
※問合せ先に連絡して貰う。代理店等を紹介する。カタログ等を公開している等閲覧者が技術を使用する場合どうすれば良いかを具体的に記入して下さい。

②施工時

・この新技术を活用しようとした時、どうすれば良いかを記入。

・施工マニュアル等を参照する必要があるか？

※施工マニュアル等があれば、どうしたら入手できるのか、記入して下さい。

③維持管理等

・維持管理が必要な内容について記入して下さい。

④その他

・上記3項目以外で留意が必要な内容について記入して下さい。

※ポイント

・特に記載する内容が無い場合、「・特になし」を必ず記入して下さい。

活用の効果

比較する従来技術	△△△		
項目	活用の効果		比較の根拠
経済性	向上(%)	同程度	*低下(%)
工程	短縮(%)	*同程度	増加(%)
品質	*向上	同程度	低下
安全性	向上	同程度	低下
施工性	向上	同程度	低下
周辺環境への影響	向上	同程度	低下
自由設定項目	向上	同程度	低下
自由設定項目	向上	同程度	低下
コストタイプ	発散型:C(-)型		

- ... 活用の効果の根拠を記入すると自動的に記入されます。
- ... 向上・同程度・低下のいずれかを選択する。
- ... 経済性と工程はコメント必須です。
品質以下は向上若しくは低下する場合にコメントを30文字程度で記入する。
※記入表現は新規性②「の〇〇となるため」と合わせて下さい。
- ... コストタイプはタブを選択し、該当するタイプをチェックして下さい。

活用の効果の根拠

基準とする数量 単位

※ 切りの良い単位・数量を記入して下さい。

	新技術	従来技術	変化値
経済性	<input type="text" value="192,217.55"/> 円	<input type="text" value="182,517.55"/> 円	<input type="text" value="-154.8"/> %
工程	<input type="text" value="1"/> 日	<input type="text" value="1"/> 日	<input type="text" value="0"/> %

※ 0.01以上で記入して下さい。

- ... 新技術と従来技術の内訳を記入すると合計金額が記入されます。
- ... 自動計算で変化値が記入されます。
- ... 数値・単位を記入して下さい。

※ポイント
・経済性での施工条件・積算条件に合わせて工程を算出して下さい。また、工程表を作成し様式3にて添付して下さい。※添付資料〇：工程表

※ポイント

・施工を含めた経済性を算出して下さい。また、イニシャルコストで比較して下さい。

●新技術の内訳

項目	仕様	数量	単位	単価(円)	金額	摘要
世話役		0.33	人	23500	7755	千葉県
特殊作業員		3.3	人	22700	74910	千葉県
普通作業員		4.9	人	19100	93590	千葉県
〇〇アスファルト	常温型30Kg	5	袋	2840	14200	千葉県
諸雑費			式		1762.55	
合計					192,217.55	円

●従来技術の内訳

項目	仕様	数量	単位	単価(円)	金額	摘要
世話役		0.33	人	23500	7755	千葉県
特殊作業員		3.3	人	22700	74910	千葉県
普通作業員		4.9	人	19100	93590	千葉県
××アスファルト	常温型30Kg	5	袋	900	4500	千葉県
諸雑費			式		1762.55	
合計					182,517.55	円

施工単価

施工条件

【共通】

- ・道路維持工事を千葉県で昼間施工。
- ・規制に係る仮設は含まない

【新技術】

- ・〇〇材料を使用(30Kg/1袋)

【従来技術】

- ・〇〇材料を使用(30Kg/1袋)

積算条件

【共通】

- ・施工歩係は、国土交通省土木工事積算基準(欠損部補修工)平成30年度版
- ・諸雑費にはコテ・レーキ・スコップ・ホウキ・振動コンパクタ賃料等を含む。
- ・舗装版とりこわし、殻運搬・処理は含まない。

【新技術】

- ・材料費は自社単価(平成30年〇〇現在)

【従来】技術

- ・材料費は建設物価(平成30年〇〇版)

※ポイント

・施工条件と積算条件を具体的に記載して下さい。

施工方法

※ポイント

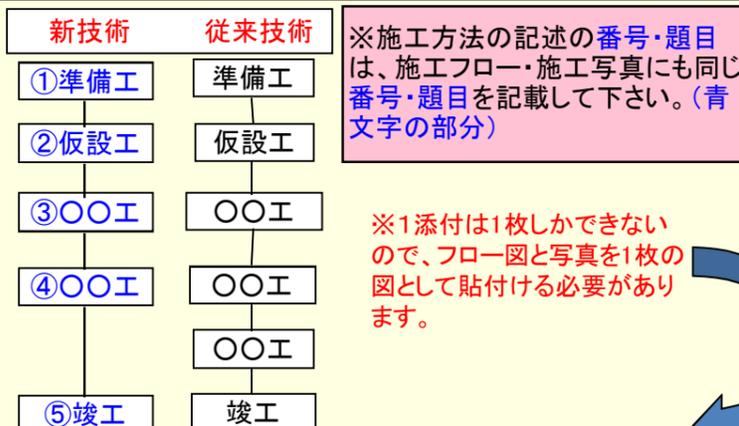
・施工方法は、新技術に手順とフローのセットで記載して下さい。

- ①施工手順を記載します。
※文章は直接記入しても、フロー図等と同じ図として貼付けしてでもどちらでも構いません。
- ②フロー図を作成します。
※従来技術のフロー図は、新技術と違いがある場合のみ作成して下さい。
- ③写真等を使用し順番に説明を記入します。**※1**
※写真については、枚数が多くなると見えづらくなるので注意して下さい。

①○○工
②△△△工
③…のように、工程を順序よく記述して頂くと見た人は分かり易いと思います。
他に、写真やフロー図を貼り付けたりするとより分かり易くなります。フロー図の場合、従来技術のフロー図と対比させて表現するとさらにその違いがよく分かると思います。
また、実際の工程だけでなく、前後に必要な準備やフォロー等の記述もあれば、より分かり易く、かつ技術として成熟していることがよく分かります。

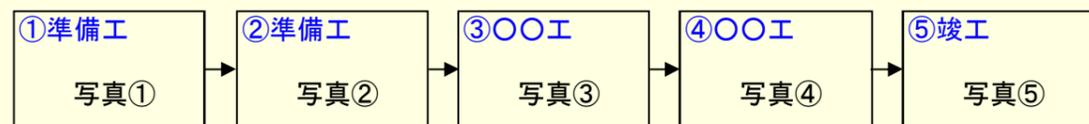
例

- ①準備工
××を均一に…して…。
- ②仮設工
鋼矢板により…する。
- ③○○工
…を設置し…する。
- ④……
- ⑤……



※施工方法の記述の番号・題目は、施工フロー・施工写真にも同じ番号・題目を記載して下さい。(青文字の部分)

※1添付は1枚しかできないので、フロー図と写真を1枚の図として貼付ける必要があります。



施工実績(工事詳細)

- (2)国土交通省における施工実績
 - ・実績件数で記入した件数(最大20件)まで、その詳細情報を記入して下さい。
 - ・工事名(元請業者の正式工事名)
 - ・事業種類(通常は、一般工事で選択されます)
 - ・地方整備局(上記1の国土交通省及び沖縄総合事務局の何れかを選択して下さい。)
 - ・発注事務所名を選択して下さい。ただし、港湾事務所の場合は、空欄に直接記入して下さい。
 - ・施工開始・施工終了は、元請業者の契約工期を記入して下さい。※工事が完了していること
 - ・CORINS登録番号は、できる限り確認し記入して下さい。(特に、国土交通省の実績の場合)
建設業許可番号 8桁 CORINS番号 4桁-5桁 例 12345678-1234-12345
※H21.8.18以降に登録されたものは、以下のようになります。
建設業許可番号 8桁 CORINS番号 10桁 例 12345678-0123456789

- (3)国土交通省以外の施工実績
 - ・実績件数で記入した件数(最大20件)まで、その詳細情報を記入して下さい。
 - ・工事名(元請業者の正式工事名)
 - ・発注者(種別)(公共機関もしくは民間で選択されます)
 - ・発注者(事務所)(公共機関名もしくは民間の発注者名を記入して下さい。)
 - ・施工開始・施工終了は、元請業者の契約工期を記入して下さい。※工事が完了していること

実験等実施状況

実験等実施状況について、下記記入例に沿って記入して下さい。

- (1)1日で試験が完了しない場合は、試験開始日と試験終了日を記入して下さい。(西暦で記載して下さい。)
- (2)試験実施場所を記入して下さい。なお、試験場所の所在地も合わせて記入して下さい。
- (3)試験の目的(新技術の成立性を確認するための必須試験)を具体的に記入して下さい。
- (4)試験方法について、試験に使用する器具や、試験体個数、基準とする数値等具体的に記入して下さい。また、試験の引用元、基準値の引用元を明示して下さい。
- (5)試験結果を記入して下さい。また、平均値であれば、平均値であることがわかるように明示して下さい。なお、単位は試験方法に記載の基準値と同じ単位として下さい。
- (6)考察を記入して下さい。なお、試験結果に合わせた考察で記入して下さい。

※ポイント

- 1. 試験が複数ある場合でも、1. 試験実施日～6. 考察まで箇条書きで記入して下さい。
- 2. ここで記載した試験により、「開発年」を記載しますので、開発年と整合するようして下さい。
- 3. 試験実施状況等の写真を必ず「1枚」添付して下さい。
- 4. ここに記載された内容は、申請技術の成立性を実証・確認されたものになりますので、様式3で項目立てして、詳細に記載して下さい。

施工実績(実績件数)

施工実績について、下記記入例に沿って記入して下さい。
※業務実績も同様に記載して下さい。

(1)実績件数

- ・国土交通省(本省、国土地理院、土木研究所、建築研究所、建設大学校、北海道開発局、各地方整備局、沖縄総合事務局)の施工実績数を記入して下さい。
- ・その他公共機関(地方自治体、NEXCO、○○道路株、公社に加え、鉄道会社、電力会社、ガス会社、NTT、第3セクター)の施工実績数を記入して下さい。
- ・民間の施工実績を記入して下さい。

実績件数		
国土交通省	その他公共機関	民間等
0件	0件	0件